

目 次

本書の要旨	1
はじめに	2
第1章 用語の定義	2
第2章 現状と問題点	3
1 徴収よりも他業務優先の現実	3
2 専門知識の不足	4
3 複雑な税外債権	5
(1) 主な税外債権の内容	5
(2) 債権の区分ごとの事務内容および適用法令等	6
第3章 問題点に対する課題	8
1 一元化体制の必要性 その1	8
2 一元化体制の必要性 その2	9
3 債権回収ルール必要性	9
第4章 施策提言	
1 提言1 組織の一元化	10
2 提言1 プラス提言 2部所による競争	11
3 提言2 債権管理条例の策定	12
おわりに	13

本書の要旨

命題：税外債権の滞納額を縮減し、適正管理を図る

<現状と問題点>

- ① 税外債権の徴収が数ある業務の一つになっていませんか？
- ② 税外債権の徴収に必要な専門知識が不足していませんか？

- ③ いろいろな種類がある複雑な税外債権を理解していますか？

<課題>

- ① 税外債権を効果的に収納する体制作りが必要です。
- ② 専門職員の配置と人材育成が必要です。

- ③ 債権管理の効率化を図るために全庁的な債権回収ルールを制定する必要があります。

<施策案>

税外債権の滞納整理を行う部所の一元化

債権管理条例の制定

プラス提言！

2箇所の部所で競争